

〈めあてと学習ポイント〉) 4時間の場合

1 時間目
めあて：川のめぐみ、この地域と川にかかわる「とくちょう」をかんがえよう
学習ポイント 【 】は副読本のページ <input type="checkbox"/> 【p. 1-2】川の周りの身近な地域を想像し、「流域」に含まれる範囲をイメージする <input type="checkbox"/> 【p. 3-4】川はめぐみをもたらすものであること（生きもののすみか、人々の河川利用があること）を学ぶ <input type="checkbox"/> 【p. 5-6】流域とは、「川に水の集まる範囲」＝「この範囲に雨がふったら、庄内川に流れてくる」地域であることを学ぶ。 <input type="checkbox"/> 【p. 7-9】地形の特徴から、堤防や川の中を流れる水をできるだけ減らす対策が必要（江戸時代からその考え方で洪水に対応してきた）であることを学ぶ
1 わたしたちの土岐川・庄内川流域 (1) 土岐川・庄内川ってどんなところ？ (2) 「流域」ってなに？ (3) 庄内川下流域の特徴
2 時間目
めあて：水害が起きた時に、身の回りでどのような危険があるのか考えよう
学習ポイント <input type="checkbox"/> 【p. 10-14】東海豪雨について学ぶ。水害時に起こる危険や、他者・地域にどんな困りごとがあるかを考え・想像することで、その後の授業において「わたしたちがとるべき行動」を考える際の土台をつくる。 <input type="checkbox"/> 【p. 17-21】下流域でおこりうる水害を学ぶ
2 水害時における危険 (1) 東海豪雨ではどんなことがおこった？ (2) この地域ではどんな水害に気を付けたらいいの？
3 時間目
めあて：水害が起きた時に、わたしたちがとるべき行動を考えよう
学習ポイント <input type="checkbox"/> 【p. 22-24】水害により生じる身の危険性を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 【p. 25-31】ハザードマップでの確認の方法、どのようなところでは避難が必要か、どこに避難するかの考え方を学び、家庭で家族と一緒に確認できるようにする。
3 水害時にわたしたちがとるべき行動 (1) 水害がおこるまでの身の回りの変化 (2) おうちの人と調べてみよう
4 時間目
めあて：被害を少なくするための「そなえ」＝流域治水を知ろう
学習ポイント <input type="checkbox"/> 【p. 32-33】水害へのそなえや、治水対策を行うために、さまざまな人が取組を行っていることを学ぶ <input type="checkbox"/> 【p. 34-37】協働での取組である「流域治水」をもっと推進する必要がでてきたこと、自分たちは何ができるかを考える。
4 みんなで取り組む水害へのそなえ (1) みんなで取り組む「流域治水」 (2) 地域の人との助け合い